



4年連続8位以内入賞へ
福岡県選手団が動き出す！

第71回国民体育大会 2016 希望郷いわて国体総合開会式



福岡県選手団 8位以内入賞に向けて発進

10月1日(土)、北上総合運動公園北上陸上競技場で、第71回国民体育大会2016希望郷いわて国体総合開会式が挙行された。福岡県選手団は、片峯副団長をはじめ、43名が堂々の入場行進を行い、地方にありながら3年連続8位以内入賞を果たしている存在感を見せた。抜けるような秋の青空の中、「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」のスローガンにふさわしく、観客席の岩手県民の方々からは、自県の選手のみならず、すべての都道府県選手に大声援が送られる等、開催県としての大きな期待が感じられる素晴らしい開会式となった。

本県選手団の旗手をつとめたバドミントン少年女子に出場する、九州国際大学付属高校3年の松山奈未選手は、「個人の目標として優勝を目指し、本県の8位以内入賞に貢献できるよう頑張ります。応援よろしくお願いします。」と力強くコメントし、共に行進いただいた福岡県議会議員、教育委員の方々からも、本県選手の活躍に向けた期待と激励の言葉をいただいた。本県選手の熱い戦いが東日本復興の架け橋となり、福岡県から応援している県民の皆さんにオリンピック・パラリンピックに負けない感動を与えてくれることを期待したい。



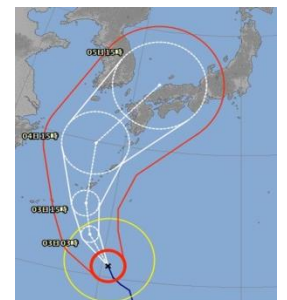
Team 福岡の現在状況と今後の展望

冬季競技、会期前競技の得点を含め、本県の男女総合成績(10/1時点)は11位であり、目標とする8位以内入賞には、3つの順位を上げる必要がある。現在、福岡より上位に位置する都道府県のうち、長野、新潟、山形県は冬季競技を得意としており先行しているものの、近年の傾向では順位を下げてくる傾向にある。本県と競合する北海道も冬季競技を得意とし、先行しているが冬季競技終了時点での獲得点は前回大会と比較して20.5点下回っている。また、現在6位の兵庫県は、前回大会の冬季競技と比較して27点増、初日にも38点を獲得し好調を維持しており、福岡の8位以内入賞を妨げる存在となっている。本県は現在14位の千葉県には、過去5年間で1度しか勝っていない。このことから冬季競技で前回大会より25点減となっているものの、今後の躍進が予想される。以上の点から、開催県である岩手県が上位に入ることを見据え、本県が8位入賞を果たすには、北海道、兵庫県、千葉県のうちの2つを上回ることが絶対条件となる。

現時点順位	都道府県名	得点	昨年度順位
1位	東京	514.5	2位
2位	北海道	442.5	9位
3位	神奈川	435	6位
4位	埼玉	430	4位
5位	長野	394	14位
6位	兵庫	336.5	12位
7位	愛知	313	3位
8位	大阪	302.5	5位
9位	新潟	237	39位
10位	山形	232	36位
11位	福岡	225	8位
12位	岩手	223	16位
13位	群馬	213.5	22位
14位	千葉	194	7位

現地コンディション情報 ~台風接近~

10月上旬の岩手県の天気は晴れの日が多い傾向にあり、現在は気温も比較的高い傾向にあるが、今後は徐々に気温が低下し、寒暖差が激しくなる事が予想される。ウェアの準備等、体温調整に心がけたい。また、台風18号が接近しており、暴風・豪雨を予想しながら、行動計画を立てる必要がある。



国体の情報については、大会ホームページ (<http://www.iwate2016.jp/>) より、ご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ振興課 企画情報係